

木谷の風



コミュニティ・スクール推進員 福田 みき

地域の方から学んだこと

【読書開き ほたるの会の皆様 4月21日(金)】

「今日の読書開きが楽しみです。」という子供たちの声が朝からたくさん聞こえてくるくらい待ちに待った『読書開きの日』でした。「お話を楽しみ、読書への意欲付けをはかる。」ことをねらいに実施しました。題名は「リブと海」です。木谷小学校の前に広い海があり、木谷の環境とぴったりの絵本を選んでいただきました。

リブの生きざまに焦点を当てた内容でどの児童も真剣にお話の中に引き込まれていました。話の最後にこんな文がありました。

リブの手が おしえてくれた
リブの手が つないでくれた
この手で これからなにしよう



この場面は3回音読しました。1回目は、ほたるの会のみなさん、2回目もほたるの会のみなさんが交互に、3回目は児童みんなで声にだして行いました。さて、児童の心の中にどんな思いがわいてきたのでしょうか。心にジーンとくる場面でした。



「リブと海」の発表のあと、昨年度のお礼の手紙の朗読をしてくださいました。各学年の代表の児童のお手紙を BGM 付きで聞かせていただきました。これもその手紙の中に自分もいるように集中して聞いていました。

その次に、ほたるの会のメンバーの方々が自己紹介をしてくださいました。

その自己紹介の内容がまた素晴らしく、全児童の瞳がお話をされる方に向いていました。9 人の方のお話を聞いてより親しみやすい関係になったように思えてうれしくなりました。

ほたるの会の皆様ひとりひとりが、いかに木谷小学校の児童のことを思って絵本を選んでくださっているか、真剣に聞いて

くれる姿から元気をもらっておられるか、体験や絵本を通して豊かに過ごしてほしいか、絵本から様々な知識に興味をもってもらいたいと思っておられるかなど切々と感じることができました。

読書開きが終了して学年ごとに教室に帰るときのことです。学年ごとにほたるの会の皆さんの前に整列して「ありがとうございました。」とお礼を言っていました。6 年生は「お忙しい中、僕たちのためにありがとうございました。」との言葉でお礼を伝えました。



ご家庭でも「読書の時間」を確保していただければありがたいです。【読書は 10 個の利点がある】と言われます。学校でも読書の取組を進めていき、読書生活にいかしてくれると信じています。ご協力をよろしくお願いいたします。